

徳川林政史研究所蔵 尾張徳川家文書目録(五)

凡 例

一 本目録は、徳川林政史研究所が所蔵する「尾張徳川家文書」について

収録したものである。「尾張徳川家文書」は、現在、「尾二」～「尾八」の文書群で構成されており、そのうち「尾二」～「尾四」は、昭和一〇年（一九三五）に財団法人尾張徳川黎明会（現在の財団法人徳川黎明会）によって開設された蓬左文庫において整理・分類されたもので、「尾五」

～「尾八」は、その後当研究所において整理された文書群である。本号では「尾張徳川家文書目録」（五）として、「尾二」の文書群のうち、前号の続きとなる、史料番号九七～一七〇までと、「尾三」の文書群を収録した。なお、本目録は、文書点数が非常に多いことや紙幅の関係などから、一度に収録することが困難であるため、「尾二」～「尾八」までの文書群を複数回に分けて掲載していくことにする。

一 前号から収録した「尾二」の文書群は、尾張藩御小納戸の職務記録である「御小納戸日記」で構成されており、藩主が在府の場合は、「江戸御小納戸日記」「尾州御留守日記」、在国の場合は、「尾州御小納戸日記」「江戸御留守日記」が、それぞれ作成された。本号の目録では「江戸御小納戸日記」（江戸日記）、および「江戸御留守日記」の分を収録した。また、「尾三」の文書群は、「江戸日記寄」および「尾州日記寄」などで構成されており、「御小納戸日記」の主な内容を年代別・項目別に書き留めたものである。

一 本目録では、各史料について、①番号、②表題、③年月日、④作成者、⑤形態・数量、⑥備考の六項目を採録した。

一 番号は、原則として、過去に蓬左文庫によって付された枝番号形式の番号を使用した。一部については、以前に当研究所において付された番号を使用したものもある。本目録の配列は、この番号の順序にしたがっている。

一 表題は、原則として内題（巻頭題）を採用し、外題を（ ）付きで直後に示した（なお、内題と外題が同じ場合には、（ ）の表記は省略した）。また、表題のみでは内容の把握が困難と考えられる史料については、必要に応じて表題の直後に（ ）付きで内容に関する補記を行った。

一 年月日は、原則として史料に記載されている年月日（内容年）を示すことにし、目録作成時に推定した部分については、（ ）を付けて適宜表記した。また、年次記載がなくても、おおよその作成年代がわかる場合には、（安政年間）（江戸末期）（明治初年）などと付して、該当する年号や時期を示すことにし、推定不能の場合には、（年不詳）とした。

一 形態については、縦（縦帳）・横（横長帳）・横半（横半帳）・状（切紙・続紙・折紙）・鋪（絵図）・綴（作成契機の異なる複数の史料を綴ったもの）・帖（折本）・卷子などと示した。小型本については、「横・小」「縦・小」などと表記した（ただし、本号収録分はすべて縦帳である）。

一 数量は、出納・閲覧の便宜を考慮して、後年の改装により、分冊あるいは合綴されたことが明らかな場合でも、現在保存されている状態での冊数を採用した。

一 備考には、史料の概略や別題、史料の中に挟み込まれた書状・書付・絵図面および綴じ込まれた文書の有無、欠本、合綴、改装の状態など、必要と思われる事柄を*印を付けて適宜記した。

一 複数におよぶ冊子で構成されている史料については、出納や閲覧の便

宜のため、原則として各冊ごとの細目を掲載した。細目の各項目における配列は、表題・年月日・作成者・形態・備考(冒頭に※を付した)の順とし、それぞれを二字アキで示したが、該当する項目に記載がない場合には、省略して表記している。

- 一 本目録は、当研究所で過去に採録したカードを基礎とし、これに今回の目録掲載に際して改めて実施した内容調査の結果を加えて構成した。内容調査、データ入力、および原稿化作業は、白根孝胤が担当した。

尾張徳川家歴代藩主一覽

代	諱	生没年月日	藩主就任期間	諡号 院号	実父 生母	正室(簾中) 継室
1	義直	慶長五年十一月二八日、 慶安三年五月七日	慶長一二年閏四月二六日、 慶安三年五月七日	敬公 院号	徳川家康 御亀(相應院)	春姫(高原院、浅野幸長女)
2	光友	寛永二年七月二九日、 元禄三年一〇月一六日	慶安三年六月二八日、 元禄六年四月二五日(隠居)	正公 瑞龍院	義直 尉(歎喜院)	千代姫(靈仙院、徳川家光女)
3	綱誠	慶安五年八月二日、 元禄一二年六月五日	元禄六年四月二五日、 元禄一二年七月一日	誠公 泰心院	光友 千代姫(靈仙院)	新君(瑩珠院、広幡忠幸女)
4	吉通	元禄二年九月一七日、 正徳三年七月二六日	元禄一二年七月一日、 正徳三年七月二六日	立公 円覚院	綱誠 下総(本寿院)	輔君(瑞祥院、九条輔実女)
5	五郎太	宝永八年一月九日、 正徳三年一〇月一八日	正徳三年八月二九日、 正徳三年一〇月一八日	達公 真巖院	吉通 輔君(瑞祥院)	安己君(光雲院、近衛家熙女)
6	継友	元禄五年二月八日、 享保一五年一二月二七日	正徳三年一月一日、 享保一五年一二月二七日	曜公 晃禪院	綱誠 和泉(泉光院)	
7	宗春	元禄九年一〇月二六日、 明和元年一〇月八日	享保一五年一月二八日、 元文四年一月一三日(隠居)	章善院 退公	梅津(宣揚院)	
8	宗勝	宝永二年六月二日、 宝曆一一年六月二四日	元文四年一月一三日、 宝曆一一年六月二四日	戴公 賢隆院	松平友著 繁(円珠院)	三姫(宝蓮院、徳川吉通女)
9	宗睦	享保一八年九月二〇日、 寛政一一年一二月二四日	宝曆一一年八月五日、 寛政一一年一二月二四日	明公 天祥院	宗勝 嘉代(英巖院)	好君(転陵院、近衛家久女)
10	斉朝	寛政五年八月二三日、 嘉永三年五月一三日	寛政一二年一月二九日、 文政一〇年八月一五日(隠居)	順公 天慈院	一橋治国 彰君(乘蓮院)	淑姫(清湛院、徳川家斉女)
11	斉温	文政二年五月二九日、 天保一〇年三月二六日	文政一〇年八月一五日、 天保一〇年三月二六日	僖公 良恭院	徳川家斉 瑠璃(青蓮院)	愛姫(琮樹院、田安斉匡女) 福君(俊恭院、鷹司政熙女)
12	斉莊	文化七年六月一三日、 弘化二年七月二〇日	天保一〇年三月二六日、 弘化二年七月二〇日	懿公 大覚院	徳川家斉 蝶(速成院)	猶姫(貞慎院、田安斉匡女)
13	慶臧	天保七年六月一五日、 嘉永二年五月七日	弘化二年八月二六日、 嘉永二年五月七日	欽公 顕曜院	田安斉匡 れい(青松院)	
14	慶勝	文政七年三月一五日、 明治一六年八月一日	嘉永二年六月四日、 安政五年七月五日(隠居)	文公 賢徳院	松平義建 規姫(貞證院)	矩姫(貞徳院、丹羽長富女)
15	茂徳	天保二年五月二日、 明治一七年三月六日	安政五年七月五日、 文久三年九月一三日(隠居)	顕樹院 靖公	松平義建 みさを(陽清院)	政姫(崇松院、丹羽長富女)
16	義宜	安政五年五月二四日、 明治八年一二月二四日	文久三年九月一三日、 明治八年一二月二四日	降徳院 隆徳院	慶勝 多満(禎正院)	

※「御家御統帳」「御日記」「御記録(徳川林政史研究所蔵)、『尾張徳川家系譜』『名古屋叢書三編』第一巻より作成。なお、系譜・家譜によつて生没年月日に若干の相違がある。なお、十六代義宜は当主であつた期間を記す(明治一年より名古屋藩知事)。

番 号 表 題

年 月 日

作 成 者

尾一七 〔江戸御小納戸日記〕

(元文四年正月三日～四月二四日)

(御小納戸)

*中表紙に「徳川家」古帳簿」の貼紙あり。

尾一六 〔江戸御小納戸日記〕

(元文五年三月一日～寛保元年四月一五日)

御小納戸

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(元文五年三月一日～八月晦日)

(御小納戸)

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(元文五年九月朔日～寛保元年四月一五日)

(御小納戸)

※二月に寛保改元。

尾一五 〔江戸御小納戸日記〕

(寛保二年三月三日～同三年三月二九日)

(御小納戸)

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(寛保二年三月三日～一〇月二八日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(寛保二年十一月朔日～同三年三月二九日)

(御小納戸)

尾一四 〔江戸御小納戸日記〕

(延享元年三月二三日～同二年四月五日)

(御小納戸)

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(延享元年三月二三日～五月二九日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。二月に延享改元。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(延享元年六月朔日～九月二九日)

(御小納戸)

第三冊 江戸御小納戸日記(三)

(延享元年一〇月朔日～一二月二九日)

(御小納戸)

第四冊 江戸御小納戸日記(四)

(延享二年正月朔日～四月五日)

(御小納戸)

尾一三 〔江戸御小納戸日記〕

(延享三年三月一日～同四年四月朔日)

(御小納戸)

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(延享三年三月一日～五月二九日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(延享三年六月朔日～九月二九日)

(御小納戸)

第三冊 江戸御小納戸日記(三)

(延享三年一〇月朔日～一二月二九日)

(御小納戸)

第四冊 江戸御小納戸日記(四)

(延享四年正月朔日～四月朔日)

(御小納戸)

尾一二 〔江戸御小納戸日記〕

(宝暦二年三月二日～同三年四月七日)

(御小納戸)

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(宝暦二年三月二日～六月晦日)

(御小納戸)

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(宝暦二年七月朔日～一〇月晦日)

(御小納戸)

形態・数量

縦 一

縦 二

縦 二

縦 四

縦 四

縦 四

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（宝暦二年一月朔日～同三年正月晦日）（御小納戸）
第四冊〔江戸御小納戸日記四〕（宝暦三年二月朔日～四月七日）（御小納戸）

尾二〇三〔江戸御小納戸日記〕（宝暦四年三月一日～同五年四月一〇日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（宝暦四年三月一日～七月晦日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」「江戸御在府 宝暦四年戊三月十一日迄同五年亥四月十日迄尾州定置重帳」「寄之拔書大概」とあり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（宝暦四年八月朔日～同五年四月一〇日）（御小納戸）

尾二〇四〔江戸御小納戸日記〕（宝暦六年三月一日～同七年三月晦日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（宝暦六年三月一日～五月二九日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（宝暦六年六月朔日～八月二九日）（御小納戸）

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（宝暦六年九月朔日～閏十一月二八日）（御小納戸）

第四冊〔江戸御小納戸日記四〕（宝暦六年十二月朔日～同七年正月晦日）（御小納戸）

第五冊〔江戸御小納戸日記五〕（宝暦七年二月朔日～三月晦日）（御小納戸）

尾二〇五〔江戸御小納戸日記〕（宝暦八年三月一日～同九年四月二日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（宝暦八年三月一日～五月二九日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（宝暦八年六月朔日～八月晦日）（御小納戸）

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（宝暦八年九月朔日～十二月晦日）（御小納戸）

第四冊〔江戸御小納戸日記四〕（宝暦九年正月朔日～四月二日）（御小納戸）

尾二〇六〔江戸御小納戸日記〕（宝暦一二年正月朔日～同一三年四月五日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（宝暦一二年正月朔日～二月晦日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置 重帳」とあり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（宝暦一二年三月朔日～四月晦日）（御小納戸）

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（宝暦一二年閏四月朔日～五月二九日）（御小納戸）

第四冊〔江戸御小納戸日記四〕（宝暦一二年六月朔日～七月二九日）（御小納戸）

第五冊〔江戸御小納戸日記五〕（宝暦一二年八月朔日～九月晦日）（御小納戸）

※「午八月十五日 御物見之絵図」の括り付けあり。

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

- 第六冊〔江戸御小納戸日記六〕 (宝暦二年一〇月朔日～二月晦日) (御小納戸)
 第七冊〔江戸御小納戸日記七〕 (宝暦二年一二月朔日～同三年正月晦日) (御小納戸)
 第八冊〔江戸御小納戸日記八〕 (宝暦三年二月朔日～四月五日) (御小納戸)

尾二二七〔江戸御小納戸日記〕

(宝暦一四年四月一五日～明和二年五月二〇日) (御小納戸)

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(宝暦一四年四月一五日～五月二九日) (御小納戸)

※中表紙に「尾州定置 重帳」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(宝暦一四年六月朔日～明和元年七月二九日) (御小納戸)

※六月に明和改元。

- 第三冊〔江戸御小納戸日記三〕 (明和元年八月朔日～一月晦日) (御小納戸)
 第四冊〔江戸御小納戸日記四〕 (明和元年一二月朔日～閏一二月晦日) (御小納戸)
 第五冊〔江戸御小納戸日記五〕 (明和二年正月朔日～正月二九日) (御小納戸)
 第六冊〔江戸御小納戸日記六〕 (明和二年二月朔日～三月晦日) (御小納戸)
 第七冊〔江戸御小納戸日記七〕 (明和二年四月朔日～五月二〇日) (御小納戸)

尾二二八〔江戸御小納戸日記〕

(明和三年三月二一日～同四年四月二〇日) (御小納戸)

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(明和三年三月二一日～三月晦日) (御小納戸)

※中表紙に「尾州定置 重帳」とあり。

- 第二冊〔江戸御小納戸日記二〕 (明和三年四月朔日～五月朔日) (御小納戸)
 第三冊〔江戸御小納戸日記三〕 (明和三年五月二日～六月晦日) (御小納戸)
 ※「中将様御具足御召初之節御飾絵図」の括り付けあり。中将様は九代藩主徳川宗睦の長男治休のこと。
 第四冊〔江戸御小納戸日記四〕 (明和三年七月朔日～八月晦日) (御小納戸)
 第五冊〔江戸御小納戸日記五〕 (明和三年九月朔日～一〇月二九日) (御小納戸)
 第六冊〔江戸御小納戸日記六〕 (明和三年一二月朔日～二月二九日) (御小納戸)
 第七冊〔江戸御小納戸日記七〕 (明和四年正月朔日～二月晦日) (御小納戸)

※絵図面(中将様・慶之助様御抱瘡御快然御祝儀ニ付御能被仰付候)の括り付けあり。慶之助は九代藩主徳川宗睦の二男(のち治興)。

第八冊〔江戸御小納戸日記八〕

(明和四年三月朔日～四月一〇日) (御小納戸)

縦

八

縦

七

尾二二〇〔江戸御小納戸日記〕（明和五年三月一五日～同六年四月二三日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（明和五年三月一五日～五月二八日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置 重帳」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（明和五年五月二九日～八月晦日）（御小納戸）

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（明和五年九月朔日～十一月晦日）（御小納戸）

第四冊 江戸御小納戸日記（四）（明和五年十二月朔日～同六年正月二九日）（御小納戸）

第五冊 江戸御小納戸日記（五）（明和六年二月朔日～四月二三日）（御小納戸）

尾二二一〔江戸御小納戸日記〕（明和七年三月二八日～同八年四月五日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（明和七年三月二八日～閏六月二九日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」「重帳」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（明和七年七月朔日～十一月晦日）（御小納戸）

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（明和七年十二月朔日～同八年正月二九日）（御小納戸）

※「年頭調留」あり。

第四冊 江戸御小納戸日記（四）（明和八年二月朔日～四月五日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（明和九年三月一七日～安永二年閏三月三日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（明和九年三月一七日～六月二九日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」「重帳」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（明和九年七月朔日～安永元年十一月二九日）（御小納戸）

※十一月に安永改元。

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（安永元年二月朔日～同二年閏三月三日）（御小納戸）

※「来巳年頭留」あり。

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（安永三年三月一九日～同四年四月一〇日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（安永三年三月一九日～六月二九日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」「重帳」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（安永三年七月朔日～十二月二九日）（御小納戸）

※「年頭御用留 奉神谷八郎右衛門 筆役本田正雪」あり。

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（安永四年正月朔日～四月一〇日）（御小納戸）

※第二冊の「年頭御用留」の続きあり。

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

尾三二三〔江戸御小納戸日記〕

(安永五年三月一日～同六年四月二〇日)

(御小納戸)

縦 五

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(安永五年三月一日～五月晦日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(安永五年六月朔日～九月晦日)

(御小納戸)

第三冊 江戸御小納戸日記(三)

(安永五年一〇月朔日～同六年正月晦日)

(御小納戸)

第四冊 江戸御小納戸日記(四)

(安永六年二月朔日～四月二〇日)

(御小納戸)

第五冊 江戸御小納戸日記(五)

(安永五年)

(御小納戸)

※日光御豫参の留帳を収録。

尾三二四〔江戸御小納戸日記〕

(安永七年三月一日～同八年四月二二日)

(御小納戸)

縦 四

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(安永七年三月一日～五月晦日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(安永七年六月朔日～九月晦日)

(御小納戸)

第三冊 江戸御小納戸日記(三)

(安永七年一〇月朔日～十二月二九日)

(御小納戸)

第四冊 江戸御小納戸日記(四)

(安永八年正月元日～四月二二日)

(御小納戸)

尾三二五〔江戸小納戸日記〕

(安永九年三月九日～天明元年八月一四日)

(御小納戸)

縦 六

第一冊 江戸(御小納戸日記一)

(安永九年三月九日～四月晦日)

(御小納戸)

※中将様の婚礼に関する留書あり。中将様は九代藩主徳川宗睦の長男治休のこと。中表紙破損。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(安永九年五月朔日～七月二九日)

(御小納戸)

第三冊 江戸御小納戸日記(三)

(安永九年八月朔日～十一月晦日)

(御小納戸)

第四冊 江戸御小納戸日記(四)

(安永九年十二月朔日～同一年二月晦日)

(御小納戸)

第五冊 江戸御小納戸日記(五)

(安永一〇年三月朔日～天明元年五月晦日)

(御小納戸)

※「御庭観音・不動尊堂御修復取扱」「戸山御屋敷観音堂御修復之節之儀承合候」についての書上あり。四月に天明改元。

第六冊 江戸御小納戸日記(六)

(天明元年閏五月朔日～八月一四日)

(御小納戸)

尾三二六〔江戸御小納戸日記〕

(天明二年八月二五日～同三年四月朔日)

(御小納戸)

縦 三

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(天明二年八月二五日～一〇月晦日)

(御小納戸)

※中表紙に「尾州定置」とあり。九代藩主徳川宗睦の「五十之御年賀」に関する書上あり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（天明二年十一月朔日～同三年正月二九日）（御小納戸）
第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（天明三年二月朔日～四月朔日）（御小納戸）

尾二二七〔江戸御小納戸日記〕（天明四年三月二一日～同五年三月二七日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（天明四年三月二一日～六月晦日）（御小納戸）
※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（天明四年七月朔日～一〇月二九日）（御小納戸）

※「純姫様御産一件」〔久千代の誕生〕あり。純姫は九代藩主徳川宗睦の養女で上杉治広の正室。

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（天明四年十一月朔日～同五年正月晦日）（御小納戸）

第四冊 江戸御小納戸日記（四）（天明五年二月朔日～三月二七日）（御小納戸）

尾二二六〔江戸御小納戸日記〕（天明六年三月一九日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（天明六年三月一九日～五月二九日）（御小納戸）

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（天明六年六月朔日～九月晦日）（御小納戸）

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（天明六年一〇月朔日～二月晦日）（御小納戸）

尾二二九〔江戸小納戸日記〕（天明七年正月元日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（天明七年正月元日～三月二九日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（天明七年四月朔日～七月晦日）（御小納戸）

※「水戸様被為入候付御間拵図面」の括り付けあり。

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（天明七年八月朔日～二月晦日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（天明八年正月朔日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（天明八年正月朔日～三月晦日）（御小納戸）

※中表紙に「尾州定置」とあり。

第二冊 江戸御小納戸日記（二）（天明八年四月朔日～七月二九日）（御小納戸）

第三冊 江戸御小納戸日記（三）（天明八年八月朔日～二月晦日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（天明九年正月元日～寛政元年九月一三日）（御小納戸）

第一冊 江戸御小納戸日記（一）（天明九年正月元日～寛政元年三月二九日）（御小納戸）

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※正月に寛政改元。

- 第二冊 (江戸御小納戸日記二) (寛政元年四月朔日～閏六月二九日) (御小納戸)
 第三冊 (江戸御小納戸日記三) (寛政元年七月朔日～九月一三日) (御小納戸)

尾二三 (江戸御小納戸日記)

(寛政二年三月一日～二月二九日) (御小納戸)

- 第一冊 (江戸御小納戸日記一) (寛政二年三月一日～四月晦日) (御小納戸)
 第二冊 (江戸御小納戸日記二) (寛政二年五月朔日～九月三日) (御小納戸)
 第三冊 (江戸御小納戸日記三) (寛政二年九月四日～二月二九日) (御小納戸)

尾二三 (江戸御小納戸日記)

(寛政三年正月朔日～二月晦日) (御小納戸)

- 第一冊 日記 (江戸御小納戸日記二) (寛政三年正月朔日～三月二四日) (御小納戸)
 第二冊 (江戸御小納戸日記二) (寛政三年三月二五日～八月二八日) (御小納戸)
 第三冊 (江戸御小納戸日記三) (寛政三年八月二九日～二月晦日) (御小納戸)

尾二三 (江戸御小納戸日記)

(寛政四年正月元日～二月晦日) (御小納戸)

- 第一冊 (江戸御小納戸日記一) (寛政四年正月元日～閏二月二九日) (御小納戸)
 第二冊 (江戸御小納戸日記二) (寛政四年三月朔日～八月二九日) (御小納戸)
 第三冊 (江戸御小納戸日記三) (寛政四年八月晦日～二月晦日) (御小納戸)

※「殿様御六十之御年賀御次第」あり。殿様は九代藩主徳川宗睦のこと。

尾二三 (江戸御小納戸日記)

(寛政五年正月元日～二月二九日) (御小納戸)

- 第一冊 (江戸御小納戸日記一) (寛政五年正月元日～四月二九日) (御小納戸)
 第二冊 (江戸御小納戸日記二) (寛政五年四月晦日～七月二九日) (御小納戸)
 ※「御結納御祝一卷」(九代藩主徳川宗睦の孫五郎太と將軍家斉息女淑姫の結納)あり。

- 第三冊 (江戸御小納戸日記三) (寛政五年八月朔日～九月晦日) (御小納戸)
 第四冊 (江戸御小納戸日記四) (寛政五年一〇月朔日～二月二九日) (御小納戸)

尾二三 (江戸御小納戸日記)

(寛政六年正月元日～二月二九日) (御小納戸)

- 第一冊 (江戸御小納戸日記一) (寛政六年正月元日～五月五日) (御小納戸)
 第二冊 (江戸御小納戸日記二) (寛政六年五月六日～九月晦日) (御小納戸)

縦 三

縦 四

縦 三

縦 三

縦 三

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（寛政六年一〇月朔日～二月二九日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（寛政七年正月朔日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（寛政七年正月朔日～四月三日）（御小納戸）

※〔御小書院御囃子之席之図〕の括り付けあり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（寛政七年四月二三日～八月晦日）（御小納戸）

※〔寛政七年卯四月廿五日 表御座之間御敷舞台ニ而御能有之節御間拵之図〕「月界院之図」の括り付けあり。

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（寛政七年九月朔日～二月晦日）（御小納戸）

※〔御座之間ニ而御年寄衆共御茶献上之席図〕「射式御覽之図」の括り付けあり。

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（寛政八年正月元日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（寛政八年正月元日～六月二九日）（御小納戸）

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（寛政八年七月朔日～二月晦日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（寛政九年正月朔日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（寛政九年正月朔日～五月六日）（御小納戸）

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（寛政九年五月七日～九月朔日）（御小納戸）

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（寛政九年九月二日～二月晦日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（寛政一〇年正月元日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（寛政一〇年正月元日～四月二五日）（御小納戸）

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（寛政一〇年四月二六日～一〇月朔日）（御小納戸）

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（寛政一〇年一〇月二日～二月晦日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（寛政一一年正月朔日～二月晦日）（御小納戸）

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（寛政一一年正月朔日～六月一〇日）（御小納戸）

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（寛政一一年六月一日～二月晦日）（御小納戸）

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（寛政一二年正月朔日～二月二九日）（御小納戸）

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（寛政一二年正月朔日～六月一九日）（御小納戸）

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（寛政一二年六月二〇日～二月二九日）（御小納戸）

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕

(享和二年正月元日～二月二九日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(享和二年正月元日～七月晦日)

(御小納戸)

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(享和二年八月朔日～二月二九日)

(御小納戸)

尾二二四〔江戸御小納戸日記〕

(享和三年正月元日～二月二九日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(享和三年正月元日～六月一九日)

(御小納戸)

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(享和三年六月二〇日～二月二九日)

(御小納戸)

尾二二五〔江戸御小納戸日記〕

(享和四年正月元日～文化元年二月晦日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(享和四年正月元日～文化元年六月晦日)

(御小納戸)

※二月に文化改元。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(文化元年七月朔日～二月晦日)

(御小納戸)

尾二二六〔江戸御小納戸日記〕

(文化二年正月朔日～二月二九日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(文化二年正月朔日～五月二〇日)

(御小納戸)

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(文化二年五月二一日～二月二九日)

(御小納戸)

尾二二七〔江戸御小納戸日記〕

(文化三年正月元日～二月二九日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(文化三年正月元日～七月六日)

(御小納戸)

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(文化三年七月七日～二月二九日)

(御小納戸)

尾二二八〔江戸御小納戸日記〕

(文化四年正月元日～二月晦日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(文化四年正月元日～五月二〇日)

(御小納戸)

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(文化四年五月二一日～二月晦日)

(御小納戸)

尾二二九〔江戸御小納戸日記〕

(文化五年正月朔日～二月二九日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(文化五年正月朔日～五月四日)

(御小納戸)

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(文化五年五月一五日～二月二九日)

(御小納戸)

尾二三〇〔江戸御小納戸日記〕

(文化六年正月元日～二月二九日)

(御小納戸)

縦二

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(文化六年正月元日～六月八日)

(御小納戸)

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（文化六年六月九日～二月二九日）（御小納戸）
尾二二四〔江戸御小納戸日記〕（文化七年正月朔日～同八年四月三日）（御小納戸）

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（文化七年正月朔日～一〇月五日）（御小納戸）
第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（文化七年一〇月六日～同八年四月三日）（御小納戸）
※〔文化八年未三月十六日 御拝領之御鷹御馬來候節御書院御拵之図〕の括り付けあり。

尾二二三〔江戸御小納戸日記〕（文化九年三月二日～同一〇年四月朔日）御小納戸頭取

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕（文化九年三月一日～一〇月晦日）御小納戸頭取
※〔文化九申年五月同済 御側江御祝詞申上御機嫌伺等根極〕あり。
第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（文化九年一二月朔日～同一〇年四月朔日）（御小納戸頭取）

尾二二四〔江戸御小納戸日記〕（文化一二年三月三日～同一二年五月二〇日）御小納戸頭取

第一冊〔江戸日記（江戸御小納戸日記一）〕（文化一二年三月三日～七月晦日）御小納戸頭取
第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（文化一二年八月朔日～同一二年二月晦日）（御小納戸頭取）
※〔烏屋圓御製菓一卷〕あり。

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（文化一二年三月朔日～五月二〇日）（御小納戸頭取）
※〔文化十二年亥二月 近衛様御招請一卷留〕「五月十三日 近衛様戸山御屋鋪江御來臨ニ付一卷」あり。「御休息所御拵之図」の括り付けあり。近衛様は近衛基前のこと（正室は九代藩主徳川宗睦の養女維君）。

尾二二五〔江戸御小納戸日記〕（文化一四年三月三日～文政二年三月二〇日）（御小納戸頭取）

第一冊〔江戸日記（江戸御小納戸日記一）〕（文化一四年三月三日～文政元年七月晦日）（御小納戸頭取）
※〔御座之間おて御用召之節御間拵 文政元年寅五月改 図面の括り付けあり。四月に文政改元。〕
第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（文政元年八月朔日～一二月二九日）（御小納戸頭取）
※〔御座之間図〕の括り付けあり。

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（文政元年二月朔日～同二年三月二〇日）（御小納戸頭取）
※〔御祝有之御能被仰付候一卷〕あり。「中務大輔様・掃部頭様御対顔并御目見以上之輩御目見之節之図」「御参詣之節御供立図面」
〔卯正月高年之輩江申渡候節之図面〕の括り付けあり。中務大輔様は高須藩主松平義和、掃部頭様はその嫡子義建のこと。

尾二二五〔江戸御小納戸日記〕（文政五年二月六日～同六年正月二九日）御小納戸頭取

第一冊〔江戸日記（江戸御小納戸日記一）〕（文政五年二月六日～六月晦日）御小納戸頭取

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※中表紙に「徳川家」「古帳簿」の貼紙あり。その次に「午年 御在日記 御小納戸頭取」とあり。

第二冊 (江戸御小納戸日記二) (文政五年七月朔日～九月晦日) (御小納戸頭取)

※「直七郎様御養君被仰出御祝儀御能一卷」あり。「中務大輔様・掃部頭様御対顔并御目見以上之輩御目見之節之図」の括り付けあり。直七郎は將軍家斉の子息で一〇代藩主徳川斉朝の養子(のち一一代藩主斉温)。中務大輔様は高須藩主松平義和、掃部頭様はその嫡子義建のこと。

第三冊 (江戸御小納戸日記三) (文政五年一〇月朔日～十一月晦日) (御小納戸頭取)

※「中納言様々直七郎様江御拝領物御配分其外被進物并御尋等取扱方伺済根極」「直七郎様々中納言様江御拝領物御配分其外被指上物并御同等取扱方伺済根極」「奥向御役儀被仰付候節両地々風意聴状指立之極」あり。「御目見以上之輩御目見之節之図」の括り付けあり。中納言様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

第四冊 (江戸御小納戸日記四) (文政五年一二月朔日～同六年正月二九日) (御小納戸頭取)

※「勤書 樋口佐左衛門」「御小納戸頭取支配御網打牧野茂三郎妻尾州江指登候付御手判一卷」あり。樋口佐左衛門は御小納戸詰組頭。

尾二一四 (江戸御小納戸日記)

(文政七年九月一日～同八年三月一七日)

御小納戸頭取

縦 二

第一冊 江戸御小納戸日記(一) (文政七年九月一日～十二月晦日) 御小納戸頭取

※「文政七年申九月 今般御参府ニ付火事之節心得方并達等一件 御小納戸頭取」あり。

第二冊 (江戸御小納戸日記二) (文政八年正月元日～三月一七日) (御小納戸頭取)

※「田安様・兵部卿様・右衛門督様被為入候一卷」あり。田安様は当主田安斉匡、兵部卿は一橋斉禮、右衛門督は斉匡の養子斉莊(將軍家斉子息)のこと。

尾二一四 (江戸御小納戸日記)

(文政九年五月四日～十一月三日)

御小納戸頭取

縦 二

第一冊 江戸御小納戸日記(一) (文政九年五月四日～八月晦日) 御小納戸頭取

※「五月廿一日記々出認 中将様御元服御一字御頂戴御任官一卷」あり。中将様はのちの一一代藩主徳川斉温のこと。

第二冊 (江戸御小納戸日記二) (文政九年九月朔日～十一月三日) (御小納戸頭取)

※「文政九年戌十月 奥坊主津田一桜儀家内尾州江差登候ニ付御手判願等一卷」「戌十月 規姫様御懷妊一卷 御小納戸頭取」「文政九年戌十月廿八日ヨリ 四ッ谷御出生様御名被進方并御願等之儀一卷留」あり。規姫は高須藩主松平義和の嫡子義建の正室。

尾二一四 江戸御小納戸日記

(文政一〇年八月一日～十二月二九日)

御小納戸頭取

縦 一

*「御寶鼻禪御結初御祝之御式」の留書あり。

尾二一四 (江戸御小納戸日記)

(文政一一年正月朔日～十二月二九日)

御小納戸頭取

縦 二

- 第一冊 江戸御小納戸日記(一) (文政一一年正月朔日～六月晦日) 御小納戸頭取
第二冊 江戸御小納戸日記(二) (文政一一年七月朔日～一二月二九日) (御小納戸頭取)

尾二二五 〔江戸御小納戸日記〕

(文政一二年正月朔日～一二月晦日)

御小納戸頭取

縦 四

- 第一冊 江戸御小納戸日記(一) (文政一二年正月朔日～三月二八日) 御小納戸頭取
第二冊 江戸御小納戸日記(二) (文政一二年三月二九日～六月晦日) (御小納戸頭取)
第三冊 江戸御小納戸日記(三) (文政一二年七月朔日～一〇月七日) (御小納戸頭取)

※図面一枚の括り付けあり。

- 第四冊 江戸御小納戸日記(四) (文政一二年一〇月七日～一二月晦日) (御小納戸頭取)

尾二二五 〔江戸御小納戸日記〕

(文政一三年正月朔日～天保元年一二月晦日)

御小納戸頭取

縦 四

- 第一冊 江戸御小納戸日記(一) (文政一三年正月朔日～閏三月二九日) 御小納戸頭取
第二冊 江戸御小納戸日記(二) (文政一三年四月朔日～六月二九日) (御小納戸頭取)

※「寅四月 御任官一巻 御小納戸頭取」(一代藩主徳川斉温の從三位參議兼左近衛權中将任官)「御小納戸詰林清八郎病死一巻」あり。

- 第三冊 江戸御小納戸日記(三) (文政一三年七月朔日～九月二八日) (御小納戸頭取)

- 第四冊 江戸御小納戸日記(四) (文政一三年九月二九日～天保元年一二月晦日) (御小納戸頭取)

※一二月に天保改元。

尾二二五 〔江戸御小納戸日記〕

(天保六年正月朔日～六月二一日)

(御小納戸頭取)

縦 五

- 第一冊 江戸御小納戸日記(一) (天保六年正月朔日～二月四日) (御小納戸頭取)
第二冊 江戸御小納戸日記(二) (天保六年二月五日～三月一〇日) (御小納戸頭取)

※「未二月朔日 御袖留御祝儀被為整候一巻」「御袖留御祝儀被為整候一巻 未正月」あり。

- 第三冊 江戸御小納戸日記(三) (天保六年三月一一日～三月晦日) (御小納戸頭取)

※「大納言様御厄明御祝ニ付御取遣等伺極」あり。大納言様は一〇代藩主であつた徳川斉朝のこと。

- 第四冊 江戸御小納戸日記(四) (天保六年四月朔日～五月五日) (御小納戸頭取)

※「大納言様御厄明御祝一巻」「水戸様小梅御屋鋪御借切ニ而被為入候一巻」あり。

- 第五冊 江戸御小納戸日記(五) (天保六年五月六日～六月二一日) (御小納戸頭取)

尾二二五 〔江戸御小納戸日記〕

(天保七年七月朔日～一二月二九日)

(御小納戸頭取)

縦 五

- 第一冊 江戸御小納戸日記(一) (天保七年七月朔日～八月八日) (御小納戸頭取)

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※「表御寝ニ被為成候取扱一卷」あり。

- 第二冊 〔江戸御小納戸日記二〕 (天保七年八月九日～九月一七日) (御小納戸頭取)
- 第三冊 〔江戸御小納戸日記三〕 (天保七年九月一八日～一〇月二〇日) (御小納戸頭取)
- ※「摂津守様被成御出中納言様御相伴御献立」「御休息御間御取立一卷」「御休息之間之儀」達之部」あり。摂津守様は高須藩主松平義建、中納言様は二一代藩主徳川斉温のこと。

尾三二五 〔江戸御小納戸日記〕

(天保八年正月朔日～十一月八日)

御小納戸頭取

縦 三

第一冊 〔江戸御小納戸日記二〕

(天保八年正月朔日～八月一九日)

御小納戸頭取

※正月十一日条から七月朔日条まで欠。

第二冊 〔江戸御小納戸日記二〕

(天保八年八月二〇日～一〇月四日)

(御小納戸頭取)

※「九月六日 御乗馬ニ而戸山御屋敷夫々王子筋江被為成候一卷」「御庭預御庭御掃除之者頭兼神戸篤三郎病死一卷」あり。

第三冊 〔江戸御小納戸日記三〕

(天保八年一〇月五日～十一月八日)

(御小納戸頭取)

※「十月十二日 摂津守様被為入候付御献立」「午十一月 大納言様御官位御昇進ニ付取扱一卷 尾州御留守方おゐて取扱一件」あり。大納言様は二一代藩主徳川斉温のこと。

尾三二五 〔江戸御小納戸日記〕

(天保九年正月朔日～六月晦日)

御小納戸頭取

縦 五

第一冊 日記 〔江戸御小納戸日記二〕

(天保九年正月朔日～二月一五日)

御小納戸頭取

※虫損あり。

第二冊 〔江戸御小納戸日記二〕

(天保九年二月一六日～三月二九日)

(御小納戸頭取)

第三冊 〔江戸御小納戸日記三〕

(天保九年四月朔日～閏四月九日)

(御小納戸頭取)

第四冊 〔江戸御小納戸日記四〕

(天保九年閏四月一〇日～五月一九日)

(御小納戸頭取)

第五冊 〔江戸御小納戸日記五〕

(天保九年五月二〇日～六月晦日)

(御小納戸頭取)

※欠損あり。

尾三二五 〔江戸御小納戸日記〕

(天保一一年七月朔日～一二月晦日)

(御小納戸頭取)

縦 五

第一冊 日記 〔江戸御小納戸日記二〕

(天保一一年正月朔日～七月二九日)

(御小納戸頭取)

※欠損あり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（天保一一年八月朔日～八月晦日）（御小納戸頭取）

※〔御代初而築地御屋敷江被為成、夫々御船三而大川筋等江被為成候一卷〕あり。

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（天保一一年九月朔日～九月二九日）（御小納戸頭取）

第四冊〔江戸御小納戸日記四〕（天保一一年一〇月朔日～一〇月晦日）（御小納戸頭取）

※市谷屋敷および戸山屋敷の鉄炮矢場図面の挟み込みあり。

第五冊〔江戸御小納戸日記五〕（天保一一年一十一月朔日～一十一月晦日）（御小納戸頭取）

※〔御既江不時ニ可被為成義ニ付〕図面の括り付けあり。

尾二一五〔江戸御小納戸日記〕

（天保一二年正月朔日～六月晦日）

御小納戸頭取

縦 五

第一冊 江戸日記〔江戸御小納戸日記一〕（天保一二年正月朔日～閏正月二日） 御小納戸頭取

第二冊 江戸御小納戸日記二（天保一二年閏正月三日～二月二日）（御小納戸頭取）

第三冊 江戸御小納戸日記三（天保一二年二月三日～三月二七日）（御小納戸頭取）

※〔今度北御庭江出入方相改候付取扱之一巻〕「奥坊主加賀了順家内江戸表江引越ニ付御手判之儀等書拔」「石黒栄九郎引越一卷」あり。
欠損あり。

第四冊 江戸御小納戸日記四（天保一二年三月二八日～五月一〇日）（御小納戸頭取）

※〔田中虎三郎家内引越一卷〕あり。田中虎三郎は御小性頭取御側物頭御小納戸頭取兼。

第五冊 江戸御小納戸日記五（天保一二年五月一日～六月晦日）（御小納戸頭取）

※〔六月廿三日 御囃子一件〕あり。絵図（市ヶ谷鉄炮矢場）の挟み込みあり。欠損あり。

尾二一六〔江戸御小納戸日記〕

（天保一三年七月朔日～一二月二九日）

御小納戸頭取

縦 五

第一冊 江戸御小納戸日記一（天保一三年七月朔日～八月九日） 御小納戸頭取

※〔七月二日 表御座間御敷舞台おゐて御慰御狂言被仰付候取扱一卷〕「奥向乱舞執心之輩御相手被仰付候節差支無之様心懸候儀ニ付取扱一卷」〔七月廿三日 松之御間おゐて御慰御囃子等被仰付候取扱一卷〕〔七月廿五日 洲崎筋江被為成深川元加賀町鈴木丹後守殿屋敷御膳所ニ相成候取扱一卷〕「戸山御庭鳥御飼付場引堀堀足櫻植付方等取扱一卷」〔八月二日 築地御屋敷江被為成候一卷〕〔八月三日 表御座間おゐて御囃子等被仰付候一卷〕「植木屋金太郎江御預之品之儀ニ付取扱一卷」あり。

第二冊 江戸御小納戸日記二（天保一三年八月一〇日～九月一五日）（御小納戸頭取）

※〔御家中之子弟乗馬御覽ニ付取扱之一巻〕〔八月十五日 表御座間御敷舞台おゐて御慰御囃子被仰付候取扱一卷〕〔八月廿五日 戸山御屋敷おゐて取扱一卷〕「御書齋請取相成候取扱一卷」〔九月十三日 表御座間御敷舞台おゐて御慰御囃子被仰付候取扱一卷〕あり。

第三冊 江戸御小納戸日記三（天保一三年九月一六日～一〇月二〇日）（御小納戸頭取）

※〔箱崎田安様御下屋敷御借切ニ而被為成候取扱一卷〕「寅八月 御小納戸詰格御時計懸山口栄吉家内呼下一巻 御小納戸頭取」〔表舞台奥

番 号 表 題

年 月 日

作 成 者

形態・数量

締ニ而御慰御能被仰付候取扱一卷」「俊恭院様三回御忌取扱之一卷」「乗蓮院様御一周忌御取掛御法事ニ付取扱一卷」「寅十月十三日大奥御飾ニ而戸山御屋敷江被為成御簾中様ニも被為成候一卷」あり。俊恭院は一代藩主徳川斉温の継室福君、乗蓮院は一〇代藩主徳川斉朝の生母彰君のこと。

第四冊〔江戸御小納戸日記四〕

(天保一三年一〇月二日～一月三日)

(御小納戸頭取)

※〔松平越前守・松平淡路守・松平兵部大輔参上ニ付取扱一卷〕「仙台駒御覽ニ付取扱一卷」「利姫様御紐解一卷」「十月廿一日清水中納言様御入ニ付取扱一卷」「十月廿八日 前大納言様御五十御年賀御祝ひ御含表御座間御敷舞台おゐて御慰御難子被仰付候取扱一卷」「十三寅十月廿八日 前大納言様御年賀御祝ニ付取扱一卷」あり。「天保十三寅年十一月二日 鎖之丞様御目通之節御席図」の挟み込みあり。利姫は二代藩主徳川斉荘の息女。前大納言様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。鎖之丞は高須藩主松平義建の三男(のち武成)。虫損あり。

第五冊〔江戸御小納戸日記五〕

(天保一三年一月二日～二月二九日)

※〔十二月二日 南部駒御覽一卷〕「天保十三寅年十月四日 表御舞台奥締ニ而御慰御能被仰付候取扱一卷」「十二月廿五日 表御座間御敷舞台おゐて御慰御能被仰付候取扱一卷」あり。

尾二一五〔江戸御小納戸日記〕

(天保一五年七月二日～弘化元年二月晦日)

(御小納戸頭取)

縦 四

第一冊〔江戸御小納戸日記一〕

(天保一五年七月二日～八月三日)

(御小納戸頭取)

※〔八月十三日 御類瘧御快然御床場御祝ニ付諸事取扱一卷〕「七月二十九日 御庭内を初所々御屋敷等稲荷社江御名代被仰付候取扱一卷」あり。「麴町御屋敷御庭内稲荷社地所図面」の挟み込みあり。「七月廿日 大久保村田付家矢場御借用に而中筒鉄炮見分歩附 御側物頭 御広敷物頭 御小納戸頭取(綴)の挟み込みあり。」「彦町矢場図面」の括り付け、「彦町矢場取建方図面」の挟み込みあり。「炮術彦町 矢場御取建之儀鬼頭佐吉・同作五郎も願出候付申達候処難取繕旨申聞有之候一卷 附中筒以上見分之儀者大久保村田付家矢場御借用相成筈候事」あり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕

(天保一五年八月一日～一〇月四日)

(御小納戸頭取)

※虫損あり。

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕

(天保一五年一〇月五日～十一月六日)

(御小納戸頭取)

※〔十月十三日 大奥御飾ニ而戸山御屋敷江被為成御簾中様・利姫様ニも被為入候取扱一件〕「十月十九日 宣姫様御遠行一卷」「四谷大木 戸田安御下屋敷江被為入夫々雜司ヶ谷辺御廻之上戸山御屋鋪江可被為入旨被仰出天氣相ニ付御延引被仰出候一卷」「十一月六日 仙台駒 御透見ニ付取扱一卷」「十一月十日 一位様薨御ニ付取扱一卷」あり。「御前附御用人御改申上候節御供揃等御年寄江具合取計方之図」の括り付けあり。宣姫は高須藩主であつた松平義和の息女。一位様は一代將軍徳川家斉の御台所広大院のこと。虫損あり。

第四冊〔江戸御小納戸日記四〕

(天保一五年十一月一日～弘化元年二月晦日)

(御小納戸頭取)

※〔琮樹院様十三回御忌御法事ニ付取扱一卷〕あり。「御座間於御溜御役替被仰渡候節之図面」の括り付けあり。琮樹院は一代藩主徳

川齊温の簾中愛姫のこと。一二月に弘化改元。欠損あり。

尾三二〇〔江戸御小納戸日記〕

(弘化二年正月元日～二月二九日)

御小納戸頭取

縦 七

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(弘化二年正月元日～二月二九日)

御小納戸頭取

※二月九日 利姫様御事清水様御養女被仰出候一卷あり。利姫は二代藩主徳川斉荘の息女で清水齊彊の養女になった。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(弘化二年二月晦日～四月二〇日)

(御小納戸頭取)

※御網打等御殺生差遣方書拔「三月九日 利姫様御事清水様御養女御願之通鑑丸様江御縁組被仰出候一卷」源傳様七回御忌御法事に付取扱一卷「巳四月三日 清水御屋形江被為成候一卷」あり。源傳様は一代藩主徳川斉温のこと。一部虫損。

第三冊 江戸御小納戸日記(三)

(弘化二年四月二日～六月一日)

(御小納戸頭取)

※巳四月廿一日 釧姫様御事御弘御簾中様御養女被仰出候取扱一卷「奥向より御登城一卷」御立寄御沙汰ニ付取扱一卷「六月二日内藤駿河守築地御屋敷相越候取扱一卷」あり。挟箱置物場所図面の括り付けあり。釧姫は二代藩主徳川斉荘の息女。一部虫損。

第四冊 江戸御小納戸日記(四)

(弘化二年六月二日～八月二五日)

(御小納戸頭取)

第五冊 江戸御小納戸日記(五)

(弘化二年八月二六日～一〇月二日)

御小納戸頭取

※九月四日 御献上并御馬御覧一卷「御庭御馬場において中奥寄合大泉小三郎并御馬預初乗馬御覧一卷」あり。「御休息御間之図」の挟み込みあり。虫損あり。

第六冊 江戸御小納戸日記(六)

(弘化二年一〇月三日～十一月晦日)

(御小納戸頭取)

※射的御覧一卷あり。「御遙拝之節図面」の括り付けあり。虫損あり。

第七冊 江戸御小納戸日記(七)

(弘化二年二月朔日～二月二九日)

(御小納戸頭取)

※三足御燭台紛失ニ付取扱一卷 附鉄吉定詰御庭御掃除之者儀御仕置之事「御元服御官位一卷」あり。虫損あり。

尾三二一〔江戸御小納戸日記〕

(弘化三年正月朔日～二月二九日)

御小納戸頭取

縦 七

第一冊 江戸御小納戸日記(一)

(弘化三年正月朔日～三月三日)

御小納戸頭取

※午正月八日 昌丸様御誕生一卷「前大納言様方御名被進候折紙上箱居台等雛形」四書御読上被遊候付御祝有之候一卷あり。「弘化三年正月十五日記 於松之御間初御講釈被為聴候節之図」の括り付けあり。昌丸は二代藩主徳川斉荘次男、前大納言様は一〇代藩主徳川斉朝のこと。

第二冊 江戸御小納戸日記(二)

(弘化三年三月四日～四月二九日)

(御小納戸頭取)

※四月五日 川澄平九郎門弟并引請門弟武芸御覧一卷「大泉小三郎門弟荒木五助引請門弟新津等門弟馬術御覧一卷」四月十五日 宰相様御任官一卷あり。宰相様は一代藩主徳川慶藏のこと。

第三冊 江戸御小納戸日記(三)

(弘化三年五月朔日～六月晦日)

(御小納戸頭取)

※五月廿九日 長尾勝之助門弟武芸御覧一卷あり。長尾勝之助は小十人組。図面(大奥境清風軒御錠口辺之柱御修復之儀三付)の挟み

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

込みあり。「於松之御間佐藤權藏講釈被為聴候節之図」の括り付けあり。

第四冊〔江戸御小納戸日記(四)〕 (弘化三年七月朔日〜七月二八日) (御小納戸頭取)

※交代御小納戸一曲輪三住居之積并定御長屋補理向代金上納方等一卷」「七月六日 源懿様御一周忌御法事一卷」あり。源懿様は二代藩主徳川斉荘のこと。虫損あり。

第五冊〔江戸御小納戸日記(五)〕 (弘化三年七月二九日〜九月七日) (御小納戸頭取)

※八月九日 隼人正殿并山村甚兵衛・石河申之丞・中西直之輔願之上戸山御庭拝見一卷 附兵部少輔殿ニも拝見之筈候処延引且御用人式人御締場為拝見罷越」「勢州猿田彦御祈禱之御札御拝被遊方之一巻」「八月廿二日 大久保田付家矢場おゐて中筒見分一卷」「御直封相成候一卷」あり。「中筒鉄炮見分 歩附帳 御側物頭 御小納戸頭取」(綴)の挟み込みあり。虫損あり。

第六冊〔江戸御小納戸日記(六)〕 (弘化三年九月八日〜十一月一四日) (御小納戸頭取)

※御庭秋葉宮外遷宮正遷宮一卷」「九月廿九日 俊恭院様七回御忌御法事一卷」「小十人組永井太郎門弟劍術御覧一卷」「新御番格小十人組山下勝藏門弟劍術御覧被遊候一卷」あり。俊恭院様は二代藩主徳川斉温の継室福君のこと。

第七冊〔江戸御小納戸日記(七)〕 (弘化三年十一月一五日〜十二月二九日) (御小納戸頭取)

※図面一枚の挟み込みあり。一部虫損。

尾二二五〔江戸御小納戸日記〕

(弘化四年正月朔日〜六月晦日)

御小納戸頭取

縦 三

第一冊 江戸御小納戸日記(一) (弘化四年正月朔日〜二月二九日) 御小納戸頭取

※「高年之輩被下物一卷」「未正月晦日 文恭院様七回御忌御法事一卷」あり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二) (弘化四年三月朔日〜五月七日) (御小納戸頭取)

※「未五月七日 民部卿様御逝去昌丸様一橋御家御相続一卷」あり。昌丸は二代藩主徳川斉荘の次男。虫損あり。

第三冊 江戸御小納戸日記(三) (弘化四年五月八日〜六月晦日) (御小納戸頭取)

※「一橋御家老初御目見之節表御座間図面」の括り付けあり。虫損あり。

尾二二六〔江戸御小納戸日記〕

(嘉永二年正月朔日〜五月六日)

御小納戸頭取

縦 三

第一冊 江戸御小納戸日記(一) (嘉永二年正月朔日〜二月二九日) 御小納戸頭取

※「高年之輩被下物一卷」あり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二) (嘉永二年三月朔日〜三月晦日) (御小納戸頭取)

※「武芸御覧一卷」「御抱瘡一卷」「御上り目」「御両用書」の書上を含むあり。

第三冊 江戸御小納戸日記(三) (嘉永二年四月朔日〜五月六日) (御小納戸頭取)

※「利姫様御抱瘡一卷」「釧姫様御抱瘡一卷」あり。利姫・釧姫はともに二代藩主徳川斉荘の息女。

尾二一六 (江戸御小納戸日記)

(嘉永二年五月七日～二月二八日)

御小納戸頭取

縦

六

第一冊 日記 (江戸御小納戸日記二)

(嘉永二年五月七日～六月二九日)

御小納戸頭取

第二冊 (江戸御小納戸日記二)

(嘉永二年七月朔日～七月晦日)

(御小納戸頭取)

※[西七月九日 御一字御頂戴御官位被仰出候一卷]「撰津守様御類噺一卷」あり。撰津守様は高須藩主松平義建のこと。

第三冊 (江戸御小納戸日記三)

(嘉永二年八月朔日～九月晦日)

(御小納戸頭取)

※「清湛院様御法事二卷」(三十三回忌)あり。「清湛院様御靈前江御参詣并三州大樹寺御貫木御物覧之図」の綴じ込みあり。清湛院は一〇代藩主徳川斉朝の簾中淑姫のこと。

第四冊 (江戸御小納戸日記四)

(嘉永二年一〇月朔日～十一月四日、十一月二八日～二九日)

(御小納戸頭取)

※「弓術御覧一卷」瑞龍院様百五拾回御忌御法事一卷あり。瑞龍院は二代藩主徳川光友のこと。

第五冊 (江戸御小納戸日記五)

(嘉永二年十一月五日～十一月二七日)

(御小納戸頭取)

※「十一月七日 小十人組長尾勝之助門弟鍵術御覧之一卷」清琳院様死去一卷あり。清琳院は高須藩主松平義建の実母。

第六冊 (江戸御小納戸日記六)

(嘉永二年十二月朔日～二月二八日)

(御小納戸頭取)

尾二一五 (江戸御小納戸日記)

(嘉永三年七月二日～同四年三月三日)

御小納戸頭取

縦

七

第一冊 日記 (江戸御小納戸日記一)

(嘉永三年七月二日～八月晦日)

御小納戸頭取

※「七月廿四日 鬼頭佐五郎并御側組同心御広敷同心炮術足並於戸山御庭御年寄衆御一覽一卷」あり。

第二冊 (江戸御小納戸日記二)

(嘉永三年九月朔日～九月二九日)

(御小納戸頭取)

※「九月廿五日 撰津守様江於奥年頭御膳被進候一卷」九月廿六日 小十人組永井太郎門弟剣術御覧之一卷「九月廿八日 内藤駿河守築地御屋敷江相越候取扱一卷」あり。

第三冊 (江戸御小納戸日記三)

(嘉永三年一〇月朔日～十一月二九日)

(御小納戸頭取)

※一部欠損。

第四冊 (江戸御小納戸日記四)

(嘉永三年十二月朔日～十二月二九日)

(御小納戸頭取)

※「十二月十二日 中納言御任官一卷」あり。

第五冊 (江戸御小納戸日記五)

(嘉永三年十二月晦日～同四年正月晦日)

(御小納戸頭取)

第六冊 (江戸御小納戸日記六)

(嘉永四年二月朔日～二月晦日)

(御小納戸頭取)

※「天月院様御卒去一卷」あり。天月院は高須藩主であった松平義居の室。のちに照月院に改号。

第七冊 (江戸御小納戸日記七)

(嘉永四年三月朔日～三月三日)

(御小納戸頭取)

尾二一六 (江戸御小納戸日記)

(嘉永五年三月二日～同六年三月朔日)

御小納戸頭取

縦

六

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

第一冊 江戸御小納戸日記(二) (嘉永五年三月一日〜四月晦日) 御小納戸頭取

※「例朝御目見之節御座間」図「御前御用之節御座間」図の括り付けあり。

第二冊 江戸御小納戸日記(二) (嘉永五年五月朔日〜六月二九日) (御小納戸頭取)

第三冊 江戸御小納戸日記(三) (嘉永五年七月朔日〜八月二九日) (御小納戸頭取)

※「七月廿七日 栄姫様御誕生一卷」(「七月廿七日 鬼頭佐五郎并御側組同心等炮術足並備打於戸山御庭御年寄衆一覽且御庭拝見一卷」)「丹羽左京大夫・内藤駿河守築地御屋敷へ参上一巻 附隼人正殿・権十郎殿にも被相越」「武芸御覧一覽」あり。栄姫は一四代藩主徳川慶勝の息女。

第四冊 江戸御小納戸日記(四) (嘉永五年九月朔日〜十一月朔日) (御小納戸頭取)

※「子九月十一日 撰津守様築地御屋敷御借切ニ而御越一卷」(「乗馬御覧之一巻」)「肥田孫左衛門・水野惣右衛門・石川内蔵允戸山御庭拝見一卷」あり。

第五冊 江戸御小納戸日記(五) (嘉永五年十二月一日〜二月二九日) (御小納戸頭取)

第六冊 江戸御小納戸日記(六) (嘉永六年正月朔日〜三月朔日) (御小納戸頭取)

※「栄姫様御抱瘡一卷」(「高年取扱一卷」)「二月廿一日 中務大輔様江年頭御膳被進候一卷」あり。

尾三二六 江戸御小納戸日記

(嘉永五年一〇月朔日〜同六年三月朔日) (御小納戸頭取)

第一冊 日記(江戸御小納戸日記一) (嘉永五年一〇月朔日〜一〇月二九日) (御小納戸頭取)

※「乗馬御覧之一巻」(「肥田孫左衛門・水野惣右衛門・石川内蔵允戸山御庭拝見一卷」)あり。尾三二六第四冊の一〇月分と同内容。

第二冊 江戸御小納戸日記(二) (嘉永五年十一月朔日〜十二月二九日) (御小納戸頭取)

※尾三二六第五冊と同内容。

第三冊 江戸御小納戸日記(三) (嘉永六年正月朔日〜正月晦日) (御小納戸頭取)

※「栄姫様御抱瘡一卷」あり。尾三二六第六冊の正月分と同内容。

第四冊 江戸御小納戸日記(四) (嘉永六年二月朔日〜三月朔日) (御小納戸頭取)

※「高年取扱一卷」(「二月廿一日 中務大輔様江年頭御膳被進候一卷」)あり。尾三二六第六冊の二月朔日から三月朔日分と同内容。

尾三二六 江戸御留守日記

(嘉永六年三月二日〜同七年三月二二日) 御小納戸頭取

第一冊 御留守日記(江戸御留守日記一) (嘉永六年三月二日〜六月四日) 御小納戸頭取

※「御米蔵新規御取建」(「図面の挟み込みあり。一四代藩主徳川慶勝は三月に帰国。一部重複の月日条あり。)

第二冊 江戸御留守日記(二) (嘉永六年六月五日〜九月二九日) (御小納戸頭取)

※「合鑑扣」一通括り付けあり。「足並一覽ニ付取扱一卷」あり。

縦 四

縦 四

第三冊〔江戸御留守日記三〕（嘉永六年一〇月朔日～一二月晦日）（御小納戸頭取）

※「歩附入」書付の括り付けあり。「蓮池御囲込地鉄炮矢場ニ相成候一卷」「異国船渡来之節防御方之儀ニ付戸山御庭ニ而調練之一巻」あり。

第四冊〔江戸御留守日記四〕（嘉永七年正月朔日～三月二日）（御小納戸頭取）

※「年頭取扱留」「御米蔵御取建ニ付取扱留」「高年之輩被下物取扱一卷」あり。「西御厩当分囲出図」「海岸警衛向」「戸山御庭御米蔵御取建場所之図面」「御米蔵御取建方之」図面の括り付けあり。

尾二一六〔江戸御小納戸日記〕

（嘉永七年三月一三日～九月二九日）

御小納戸頭取

縦 四

第一冊 江戸日記〔江戸御小納戸日記一〕（嘉永七年三月一三日～四月晦日）

御小納戸頭取

※「蓮池角場休息所等出来方ノ一卷」「御宿武右衛門引請門弟兵法御覧一卷」あり。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（嘉永七年五月朔日～六月晦日）

（御小納戸頭取）

※「田辺四郎右衛門門弟鎗術御覧一卷」あり。「田辺四郎右衛門門弟」書上綴の括り付けあり。「御用列以下物頭以上之輩乗馬御覧一卷」あり。綴（御馬書上）、「御焰硝蔵御取建場所図面」二枚の括り付けあり。

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（嘉永七年七月朔日～八月一九日）

（御小納戸頭取）

※「嘉永七年寅六月ヨリ御誕生一卷御小納戸頭取」あり。続きは尾二一六第四冊にあり。

第四冊〔江戸御小納戸日記四〕（嘉永七年八月一九日～九月二九日）

（御小納戸頭取）

※「嘉永七年寅六月ヨリ御誕生一卷」の続きあり。

尾二一七〔江戸御小納戸日記〕

（嘉永七年一〇月朔日～安政二年三月四日）

御小納戸頭取

縦 三

第一冊 日記〔江戸御小納戸日記一〕（嘉永七年一〇月朔日～安政元年一月二九日）

御小納戸頭取

※「御宿武右衛門引請門弟梶原弥市右衛門門弟武芸御覧一卷」「長尾勝之助惣領同姓鎗太郎門弟武芸御覧一卷」「近藤九兵衛・近松彦之進門弟武芸御覧一卷」あり。「先達而物頭以上乗馬御覧之節不相動輩乗順毛附」綴の括り付けあり。「御精進日」書上「（武芸門弟書上）」「寅十一月十一日御簾中様御袖留」巻「福沢豊吉門弟武芸御覧一卷」あり。図面（御取建御土蔵・御装束所取毀方）の綴じ込みあり。御簾中様は一四代藩主徳川慶勝の室矩姫のこと。一月に安政改元。

第二冊〔江戸御小納戸日記二〕（安政元年二月朔日～二月晦日）

（御小納戸頭取）

※「御庭一之御土蔵納御金御掃除之者竹吉盗取一卷」あり。

第三冊〔江戸御小納戸日記三〕（安政二年正月朔日～三月四日）

（御小納戸頭取）

※「高年之輩江被下物取扱一卷」「新沢等門弟馬術御覧之一巻」あり。

番号表題

年月日

作成者

尾三十一〔尾州惣留記便覧〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

形態・数量
縦 九

第一冊

〔尾州惣留記便覧(一)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔御吉凶〕、「御届」(御言伝書・御尋・御年寄衆等)、「被召上物」(御精進)の項目で構成。

第二冊

〔尾州惣留記便覧(二)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔御祝儀申上〕(御機嫌伺・年頭御祝儀・暑寒御機嫌)、「御覧」(拝見見廻)、「御参詣」(御名代)、「所々御成」の項目で構成。

第三冊

〔尾州惣留記便覧(三)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔他所詰〕(御道中御供・道中詰人数・悴等召連下・発足見合方・立寄参詣)、「定府定詰」(渡り物御手判・家内引越往来共・引越御手当金・渡り方共)、「差立物」(御用状等上書・地並状等差出方)、「所々御暇」(家内之者とも・附御手判・諸用御暇)、「看病・自病御暇」(月代刺・近所歩行)の項目で構成。

第四冊

〔尾州惣留記便覧(四)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔御入用金〕(御側金・御新田金・家内引越之外御手当金・拝借金・渡り方とも)、「米金」(御褒美・御足高・金銀拝領・支度・渡方・御切符・知行御振替米)の項目で構成。

第五冊

〔尾州惣留記便覧(五)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔差上物・被下物〕(返上物・御容赦願共・引取物・上納物)、「御普請役」(辻番銀)、「白鳥御材木」(山川)(草木・魚鳥・舟・草刈・御林・御留川・殺生)の項目で構成。

第六冊

〔尾州惣留記便覧(六)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔締〕(壁書・高札・掃除・御門出入・他役姓名等為申達方)、「職掌」(役之人数・詰席・料紙用方・御為筋・支配筋・持場所・前役勤方之類・町人等御用無代勤)の項目で構成。

第七冊

〔尾州惣留記便覧(七)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔文武〕(遊芸・歩附帳・文具・武具・明倫堂)、「医薬」(御製薬・病者御救・御薬差上・右ニ付被下物とも・它人立療治・医術入門)、「家来」(妾・僕召抱方・供連・百姓)、「杖足袋」(根一札)、「親類書」(家譜)、「出入参詣」(唱方)(認方・文格之類・年号改元)の項目で構成。

第八冊

〔尾州惣留記便覧(八)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔御建物〕(御修復)、「御祠堂」(「寺社」(御法事・御寺詰・出家・御神事・御礼差上・御花銀子等献備・御靈前等拝礼)の項目で構成。

第九冊

〔尾州惣留記便覧(九)〕

(宝暦八年↗安政元年)

(御小納戸頭取)

※〔屋敷〕(拝領・境論・別宅・在宅・家作・取建・御長屋)、「同居」(引離とも・屋敷借)、「道具」(陶器焼立方・御櫓を初借貸・御風入)、「衣服」(御紋服・衣類拝領)の項目で構成。

尾三 二 御留守日記寄 (寛政二年〜同十二年) (御小納戸頭取) 縦 一

*「高貴」所々御成、「御届」、「寺社」(御法事・御精進日・御名代・御神事)、「根極」(諸被仰出・其外根極ニ可相成事)、「御役替」、「御褒美」(被下物・差上物)、「願達」、「雜事」(江戸往返御用・御道具類・御用達町人願達)、「変事」の項目で構成。

尾三 三 御留守日記寄 (文政七年〜同十二年) (御小納戸頭取) 縦 二

第一冊 御留守日記寄(一) (文政七年〜同十二年) (御小納戸頭取)

※「高貴」、「寺社」(御名代・御法事・御精進日・御祈禱・御神事・御初穂・御備物・被下物)、「諸被仰出役所極」(根極ニ可相成儀御年寄衆・御側御用人・御用人ら申聞有之分)、「御役替」(被召出御加増地方拝領・誓詞・兼役加役・御用懸り并人別被仰渡・御憐愍御手当役料・御用向被仰渡など)の項目で構成。

第二冊 御留守日記寄(二) (文政七年〜同十二年) (御小納戸頭取)

※「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「願達」(諸願改名共并御黒印紙取扱支配方ら申達取扱・常々御用向御用列以上其外諸役所見合可相成御用向申来取扱共此部ニ入)、「雜部」(常々之御慰物其外木草花御葉類取扱・病氣引籠御番出入・江戸尾州往返御用取扱・諸色請取渡御道具取扱)、「変事」(忌中引籠并忌御免・御叱・差控・御赦免)の項目で構成。

尾三 四 御留守日記寄 (天保元年〜同四年) (御小納戸頭取) 縦 三

第一冊 御留守日記寄(一) (天保元年〜同四年) (御小納戸頭取)

※「高貴」(御祝儀申上・御参詣事・御拝領物・御機嫌伺・所々御成)、「御届」(御拝領・御配分物・御使・諸御取遣・御書・御書取扱)、「寺社」(御名代・御法事・御精進日・御祈禱・御神事・御初穂・御備物・被下物)、「諸被仰出役所極」(根極可相成儀御年寄衆・御側御用人・御用人ら申聞有之分)の項目で構成。

第二冊 御留守日記寄(二) (天保元年〜同四年) (御小納戸頭取)

※「御役替」(被召出御加増地方拝領・誓詞・兼役加役・御用懸并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付等)の項目で構成。

第三冊 御留守日記寄(三) (天保元年〜同四年) (御小納戸頭取)

※「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「願達」(諸願改名共并御黒印紙取扱支配方ら申達取扱・常々御用向御用列以上其外諸役所見合可相成御用向申来取扱共此部ニ入)、「雜事」(常々御慰其外木草花御葉類取扱・病氣引籠御番出入・江戸尾州往返御用取扱・諸色請取渡御道具取扱)、「変事」(忌中引籠・忌御免・御叱・指控・御赦免)の項目で構成。

尾三 五 御留守日記寄 (天保五年〜同八年) (御小納戸頭取) 縦 二

第一冊 御留守日記寄(一) (天保五年〜同八年) (御小納戸頭取)

※「高貴」(御祝儀申上・御参詣事・御拝領物・御機嫌伺・所々御成)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使等)、「寺

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

尾三 六〔御留守日記寄〕

(天保九年〜同十二年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 御留守(日記)寄(一) (天保九年〜同十二年) (御小納戸頭取)

※「高貴」(御祝儀申上・御参詣事・御拝領物・御機嫌伺・所々御成)、「御屈」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使等)、「寺社」(御名代・御法事・御精進・御祈禱・御神事・御初穂・御備物・被下物)、「諸被仰出役所極」(根極ニ可相成儀御年寄衆・御側御用人・御用人方申聞有之分)、「御役替」(被召出御加増地方拝領・誓詞・兼役加役・御用懸并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付等)の項目で構成。

第二冊 〔御留守日記寄(一)〕 (天保九年〜同十二年) (御小納戸頭取)

※「御褒美」(拝領物・指上物・諸御尋)、「願達」(諸願改名共・御墨印紙取扱支配方申達取扱常々御用向御用列以上其外諸役所より見合可相成御用向申来取扱とも)、「雑事」(常々御慰物其外木草花御薬類取扱・病氣引籠御番出入・江戸尾州往返御用取扱・諸色請取渡御道具取扱)、「変事」(忌中引籠・忌御免・御叱・指控・御赦免)の項目で構成。

尾三 七〔御留守日記寄〕

(天保十三年〜弘化三年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 御留守日記寄(一) (天保十三年〜弘化三年) (御小納戸頭取)

※「高貴」(御祝儀申上・御参詣事・御拝領物・御機嫌伺・所々御成)、「御屈」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使等)、「寺社」(御名代・御法事・御精進・御祈禱・御神事・御初穂・御備物・被下物)、「諸被仰出役所極」(根極ニ可相成儀御年寄衆・御側御用人・御用人方申聞有之分)、「御役替」(被召出御加増地方拝領・誓詞・兼役加役・御用懸并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付等)の項目で構成。

第二冊 〔御留守日記寄(二)〕 (天保十三年〜弘化三年) (御小納戸頭取)

※「御褒美」(拝領物・指上物・諸御尋)、「願達」(諸願改名共・御墨印紙取扱支配方申達取扱常々御用向御用列以上其外諸役所より見合可相成御用向申来取扱とも)、「雑事」(常々御慰物其外木草花御薬類取扱・病氣引籠御番出入・江戸尾州往返御用取扱・諸色請取渡御道具取扱)、「変事」(忌中引籠・忌御免・御叱・指控・御赦免)の項目で構成。

尾三 八 御留守日記寄

(嘉永三年～同六年)

御小納戸頭取

縦 一

*「高貴」(御祝儀申上・御參詣事・御拝領物・御機嫌伺・所々御成)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書・御書取扱)、「寺社」(御名代・御法事・御精進日・御祈禱・御神事・御初穂・御備物・被下物)、「諸被仰出役所極」(根極ニ可相成儀御年寄衆・御側御用人・御用人方申聞有之分)、「御役替」(被召出御加増地方拝領・誓詞・兼役加役御用懸并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付等)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「願達」(諸願 改名共・御黒印紙取扱支配方申達取扱・常々御用向御用列以上其外諸役所より見合可相成御用向申来取扱)、「雑事」(常々御慰物其外上々物木草花御薬類取扱病氣引籠御番出入・江戸尾州往返御用取扱・諸色請取渡し御道具取扱)、「変事」(忌中引籠・忌御免・御叱・指控・御赦免)の項目で構成。

尾三 九 (尾州日記寄)

(延享四年～宝暦四年)

(御小納戸頭取)

縦 三

第一冊 尾州日記寄 (一)

(延享四年～宝暦四年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」(諸芸其外御覧・御城内御庭并御物見之儀此部ニ記)、「上使」(御献上物・御拝領物・御内書御頂戴)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・寛延四未年方御末男方取扱)、「御社参御仏参」(御礼・神酒御頂戴)、「所々御成」(御規式)「御発駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物之事」(御届)「御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御便」の項目で構成。

第二冊 (尾州日記寄 二)

(延享四年～宝暦四年)

(御小納戸頭取)

※「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀年寄衆・御側同心頭衆・兩御用人方方被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増地方拝領固メ・兼役加役御用懸り并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代 支配方共ニ・年寄衆隠居衆被為召就御用 御目見被仰付・絵師被為召諸御礼申上但新規継目御目見之儀ハ諸願之部ニ有り)、「触状」(御小納戸向諸通辞)の項目で構成。

第三冊 (尾州日記寄 三)

(延享四年～宝暦四年)

(御小納戸頭取)

※「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初尾御備物・被下物)、「諸願」(屋敷拝領同相對替拝領・湯治御暇・養生御暇・新規継目御目見・勢州参宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱・支配方申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役所方御用向申談并取扱共此部ニ記)、「天災・病死・変事」(忌服引籠并忌御免・御叱・差控・御赦免者)、「雑事」(常々御用御慰物其外木草花御薬類取扱・病氣引籠・御番出入・江戸尾州往来御用取扱・諸色請取渡し御道具取扱)の項目で構成。

尾三 二 (尾州日記寄)

(宝暦五年～同一〇年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 尾州日記寄 (一)

(宝暦五年～同一〇年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」(諸芸其外御覧・御城内御庭并御物見之儀此部ニ記)、「上使」(御献上物・御拝領物・御内書御頂戴)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱之事)、「御社参御仏参」(御礼・神酒御頂戴)、「所々御成」(御規式)「御発駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物之事」(御届)「御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御便」(御法事)「御精進日」(諸被

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

仰出役所極(根極ニ相成候儀老衆・御側同心頭衆・兩御用人方ニ被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増増地方拝領固メ・兼役加役御用懸り并人別被仰渡・御上下御供被仰付)の項目で構成。

第二冊 尾州日記寄二 (宝暦五年〜同二〇年) (御小納戸頭取)

※「御褒美」(拝領物・指上物・諸御尋、「不時御目見」(江戸交代 支配方共ニ・年寄衆隠居衆被為召就御用御目見被仰付・絵師被為召諸御礼申上 但新規継目御目見之儀ハ諸願之部ニ有リ)、「触状」(御小納戸向諸通辭)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂御備物・被下物)、「諸願」(屋敷拝領同相對替拝領・湯治御暇・養生御暇・新規継目御目見・勢州參宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱・支配方ニ申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役所ニ御用向申談并取扱共ニ此部ニ記)、「天災・病死・変事」(忌服引籠并忌御免・御叱・指控・御赦免者)、「雑事」(常々御用御慰物其外上々物木草花御葉類取扱・病氣引籠・御番出入・江戸尾州往来御用取扱・諸色請取渡・御道具取扱)の項目で構成。

尾三二 尾州日記摘便覧(尾州寄便覧) (宝暦三年〜天保一五年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 尾州日記摘便覧(尾州寄便覧二) (宝暦三年〜天保一五年) (御小納戸頭取)

※「高貴」(公辺・上使・御届・御規式・御參詣・御招請・出御・諸御覽御逢・御吉凶)、「根極」(新加拝領・御加恩・人別被仰付・御用懸・仕埋・雑用被下・御目見・父子引替・召抱)の項目で構成。

第二冊 尾州寄便覧二 (宝暦三年〜天保一五年) (御小納戸頭取)

※「御褒美」(差上物・御尋・御手当・御拝領物御残被下)、「御入用」(金銀出納・御新田)、「諸願」(依願・御目見)、「諸達」(寺社・御神事・諸役所懸合・雑事)、「変事」(天災・御糺・凶事)の項目で構成。

尾三三 尾州日記寄

(宝暦一年〜明和五年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 尾州日記寄(一) (宝暦一年〜明和五年) (御小納戸頭取)

※「高貴」(諸芸其外御覽・御城内御庭并御物見之儀此部ニ記)、「上使」(御献上物・御拝領物・御内書御頂戴)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱)、「御社參御仏參」(御礼・神酒御頂戴)、「所々御成」(御規式)「御発駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物之事」、「御届」(御拝領物御配分・御使・諸御取遣・御書取扱)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀老衆・御側同心頭衆・兩御用人方ニ被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増増地方拝領固メ・兼役加役御用懸り并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付)の項目で構成。

第二冊 尾州日記寄二 (宝暦一年〜明和五年) (御小納戸頭取)

※中表紙に「徳川家」「古帳簿」の貼紙あり。「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代 支配方共ニ・年寄衆隠居衆被為召就御用御目見被仰付・絵師被為召諸御礼申上 但新規継目御目見之儀ハ諸願之部ニ有リ)、「触状」(御小納戸向諸通辭)、「寺社」

(御名代・御神事・御祈禱・御初穂御備物・被下物)、「諸願」(屋敷拝領同相對替拝領・湯治御暇・養生御暇・新規継目御目見・勢州参宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱・支配方申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役所御用向申談并取扱共此部ニ記)、「天災・病死・変事」(忌服引籠并忌御免・御叱差控・御赦免者)、「雑事」(常々御用御慰物其外上々物木草花御薬類取扱・病氣引籠・御番出入・江戸尾州往来御用取扱・諸色請取渡・御道具取扱)の項目で構成。

尾三一三〔尾州日記寄〕

(安永六年～天明四年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 尾州日記寄(一)

(安永六年～天明四年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」「上使」(勅使衆来臨・御拝領物・御献上物・御内書御頂戴)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱・日門様御来臨)、「御参詣」(御社参御仏参)「御礼・神酒御頂戴」(御規式)「御発駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御側ニ而被召上物」、「御届」(御拝領物御配分御使・諸御取遣・御書取扱)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀老衆・御側同心頭衆・両御用人衆被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増地方拝領固メ・兼役加役御用懸り并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付候儀)の項目で構成。

第二冊 尾州日記寄(二)

(安永六年～天明四年)

(御小納戸頭取)

※「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代年寄衆隠居衆被為召・就御用御目見被仰付・諸御礼申上其外被為召)、「諸触」(御小納戸諸通し)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初尾御備并被下物)、「諸願」(屋敷拝領同相對替拝領・湯治病氣養生之御暇・新規継目御目見・勢州参宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙支配方申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役方申談并取扱共此部ニ記)、「変事」(忌服引籠并忌御免・御叱差控・御赦免)、「雑事」(常々御用御慰物其外差上物木草類御薬種類・病氣引・御番出入・江尾往来御用取扱・諸色請取渡・御道具類)の項目で構成。

尾三一四〔尾州日記寄〕

(天明五年～寛政二年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 尾州日記寄(一)

(天明五年～寛政二年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」「上使」(御招請)「御社参」(所々御成)「御届」(御法事)「根極被仰出」(御役替)の項目で構成。

第二冊 尾州日記寄(二)

(天明五年～寛政二年)

(御小納戸頭取)

※「御褒美」(不時御目見)「触状」(諸願)「寺社」(諸達)「変事」(雑事)の項目で構成。

尾三一五〔尾州日記寄〕

(文化八年～文政五年)

(御小納戸頭取)

縦 四

第一冊 尾州日記寄(一)

(文化八年～文政五年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」(諸芸其外御覧・御城内御庭并御物見之儀此部ニ記)、「上使」(御献上物・御拝領物・御内書御頂戴)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱)、「御社参御仏参」(御礼・神酒御頂戴)、「所々御成」の項目で構成。

第二冊 尾州日記寄(二)

(文化八年～文政五年)

(小納戸頭取)

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

※「御規式」(御発駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物之事)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀年寄衆・御側大寄合・兩御用人ヲ被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増地方拝領・誓詞・兼役加役御用懸并人別被仰付・召抱・御憐愍・御手当役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付)の項目で構成。

第三冊 〔尾州日記寄三〕

(文化八年～文政五年)

(御小納戸頭取)

※「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代・支配方とも・年寄衆隠居衆被為召・就御用御目見被仰付・御絵師被為召諸御礼申上)、「触状」(御小納戸向諸通辞)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂御備物・被下物)、「諸願」(屋敷拝領同相對替拝領・湯治御暇・養生御暇・新規繼目御目見・勢州參宮御暇・改名)の項目で構成。

第四冊 〔尾州日記寄四〕

(文化八年～文政五年)

(御小納戸頭取)

※「諸達」(御黒印紙取扱・支配方申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役所ヲ御用向申談并取扱共此部ニ記)、「天災・病死・変事」(忌服引籠并忌御免・御叱差控・御赦免)、「雑事」(常々御用御慰物其外上ケ物本草花御薬類取扱・病氣引籠・御番出入・江戸尾州往来御用取扱・諸色請取渡・御道具取扱)の項目で構成。

尾三十二 〔尾州日記寄〕

(文政六年～同七年)

(御小納戸頭取)

縦 三

第一冊 尾州日記寄(一)

(文政六年～同七年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」(諸芸其外御覧・御城内御庭并御物見之儀此部ニ記)、「上使」(御献上物・御拝領物・御内書御頂戴)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱)、「御社参御仏参」(御礼・神酒御頂戴)、「所々御成」(御規式)(御発駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物之事)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀御年寄衆・御側御用人・兩御用人ヲ被申聞候事)の項目で構成。

第二冊 〔尾州日記寄二〕

(文政六年～同七年)

(御小納戸頭取)

※「御役替」(被召出御加増地方拝領誓詞・兼役加役御用懸并人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代・年寄衆隠居衆被為召・就御用御目見被仰付・御絵師被為召諸御礼申上)の項目で構成。

第三冊 〔尾州日記寄三〕

(文政六年～同七年)

(御小納戸頭取)

※「触状」(奥向諸通辞)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂御備并被下物)、「諸願」(屋敷拝領同相對替拝領・湯治養生御暇・新規繼目御目見・勢州參宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙支配方申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役ヲ申談并取扱共此部ニ記)、「天災・病死・変事」(忌服引籠并忌御免・御叱差控・御赦免)、「雑事」(常々御用御慰物其外上ケ物本草類御薬類・病氣引・御番出入・江戸尾州往来御用取扱・諸色請取渡・御道具取扱)の項目で構成。

(天保一一年～同十五年)

(御小納戸頭取)

縦 一

*中表紙に「徳川家」「古帳簿」の貼紙あり。「高貴」(諸芸等御覧・御城内御庭「虫損」・御吉凶・御稽古事・御方々様所々御成)、「上使」(御献上物・御拝領物・御内書御頂戴)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀御年寄衆・御側御用人・兩御用人方より申聞有之分)、「御参詣」(御社参御仏参・御札神酒御頂戴・御祭事等)、「所々御成」(「御規式」御免駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物之事)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使)、「御法事」(御精進)、「御役替」(被召出・御加増・誓詞・兼役・加役・地方拝領・御用懸・人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・役料・御用向被仰渡申渡・御上下御供被仰付・改名被仰付)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(御機嫌伺・就御用御目見・御年寄衆隠居衆被為召・御絵師等被為召・諸御礼申上・江戸交代・支配方共・新規・継目)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂・御備物・被下物)、「諸願」(屋敷拝領・同相對替拝領・湯治御暇・養生御暇・新規継目御目見・勢州参宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱・支配方達事取扱・常々御用向御用列以上其外諸役所申談并取扱共ニ此部ニ記)、「雑事」(常々御用御慰物其外上ケ物本草類御藥類取扱・病氣引籠・産穢共・御番出入・江戸尾州往返御用取扱・諸色請取渡・御道具取扱)、「変事」(天災・病死・忌中引籠・忌御免・御叱差控・御赦免・迷惑達始末書共)の項目で構成。

(明和元年～同四年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 江戸日記寄(一)

(明和元年～同四年)

(御小納戸頭取)

*「高貴」(諸芸御覧・御屋敷内御庭并御物見其外御旁様御部屋江被為入候儀此部ニ記)、「上使」(勅使衆来臨・御拝領物・御内書御頂戴・御献上物)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・日門様御入来・御末男方取扱)、「御登城」(「御豫参」御社参・御仏参・御札神酒御頂戴)、「所々御成」(御屋敷外押立候出御此部ニ記)・市買御屋敷内之儀ハ「高貴ニ記」(「御規式」(御免駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀老衆・兩役衆・御用人方申聞之事)の項目で構成。

第二冊 (江戸日記寄(二))

(明和元年～同四年)

(御小納戸頭取)

*「御役替」(被召出御加増地方拝領・兼役加役御用懸り・人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・役料・固メ上下御供御用向被仰渡申渡)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代・年寄衆隠居衆被為召・就御用御目見被仰付・御絵師被為召・諸御礼申上・御祝詞申上)、「触状」(御小納戸向諸通辞)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂御備物并被下物)、「諸願」(屋敷拝領同相對替・湯治病氣養生御暇・新規継目御目見・勢州参宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱支配方申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役所申談并取扱とも此部ニ記)、「変事」(忌服引籠并忌御免・御叱差控・御赦免)、「雑事」(常々御用御慰物其外差上物本草類御藥種類・病氣引・御番出入・江戸往返御用・諸色受取渡し・御道具取扱)の項目で構成。

(安永九年～天明三年)

(御小納戸頭取)

縦 一

*「高貴」(「上使」(御招請)「御豫参」(「所々御成」(「御登城」(「御届」(「御法事」(「諸被仰出」(「御役替」(「御褒美」(「不時御目見」(「御触」(「寺社」(「諸願」(「諸達」(「変事」(「雑」の項目で構成。

番
号
表
題

年月日

作成者

形態・数量

尾三 江戸日記寄

(天明四年、同五年)

(御小納戸頭取)

縦

＊「高貴」諸芸御覽・御屋敷内御庭并御物見其外御方々様御部屋被爲入候儀此部ニ記、「上使」勅使衆來臨・御拝領物・御内書御頂戴・御献上物、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・日門様御入來・御末男方取扱)、「御登城」,「御豫參」(御社參・御仏參・御礼神酒御頂戴)、「所々御成」(御屋敷外押立候出御此部ニ記・御屋敷内之儀者高貴ニ記)、「御規式」(御発駕御着座・諸御祝事・土用入寒入其外御例ニ而被召上物)、「御屈」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀年寄衆・御側同心頭衆・両御用人衆被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増地方拝領・兼役加役御用懸り・人別被仰渡・召抱・御憐愍・御手当・御役料・固メ上下御供御用向被仰渡申渡)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代・支配方共・年寄衆隠居衆被爲召・就御用御目見被仰付・御絵師被爲召・御祝詞申上・諸御礼申上)、「触狀」(御小納戸向諸通辭)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂御備物并被下物)、「諸願」(屋敷拝領并相對替・湯治病氣養生御暇・新規御目見継目共・勢州參宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱・支配方申達・根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役方申談并取扱共ニ記)、「病死変事」(忌服引籠并忌御免・御叱差控・御赦免者)、「雑事」(常々御用御慰物其外差上物本草御葉種類・病氣引籠・御番出入・江戸尾州往來御用取扱・諸色請取渡・御道具取扱)の項目で構成。

尾三十二 江戸日記寄

（天明六年～同八年）

(御小納戸頭取)

縦

＊「高貴」諸芸其外御覽、御屋敷内御庭并御物見其外御方々様御部屋江被為入候儀此部ニ記、「上使」勅使衆來臨、御拝領物、御内書御頂戴、御献上物、「御招請」(御客衆御逢、他所之輩御目見、他所御取遣、日門様御入來、御末男方取扱)、「御登城」,「御参詣」(御社參、御仏參、御札神酒御頂戴)、「所々御成」(御屋敷外押立候出御此部ニ記、市買御屋敷内之儀者高貴ニ記)、「御規式」(御発駕御着座、諸御祝事、土用入寒入其外御側ニ而被召上物)、「御届」(御拝領物御配分、御使、諸御取遣、御書取扱)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀老衆、御側同心頭衆、両御用人衆被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増地方拝領、固メ、兼役加役御用懸り、人別被仰付、召抱、御憐愍、御手当、役料、御用向被仰渡申渡、御上下御供被仰付)、「御褒美」(拝領物、差上物、諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代、支配方共、老衆隠居衆被為召、就御用御目見被仰付、御絵師被為召、諸御礼申上)、「触狀」(御小納戸向諸通辞)、「寺社」(御名代、御神事、御祈禱、御初穂、御備物、被下物)、「諸願」(屋敷拝領、同相對替、湯治御暇、養生御暇、新規繼目御目見、勢州参宮御暇、改名)、「諸達」(御黒印紙取扱、支配方申達、根極不取扱儀常々御用向御用列以上其外諸役所方申談并取扱共ニ記)、「天災病死変事」(忌服引籠并忌御免、御叱差控、御赦免之者)、「雜事」(常々御用御慰物其外上ヶ物木草花御葉類、病氣引籠、御番出入、江戸尾州往来御用取扱、諸色請取渡、御道具取扱)の項目で構成。

尾三十三〔江戸日記寄〕

(寛政五年～同七年)

(御小納戸頭取)

縦

第一冊 江戸日記寄〔二〕

(寛政五年～同七年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」(諸芸御覽、御屋敷内御庭并御物見其外御方々様御部屋江被為入候儀此部二記)、「上使」(勅使衆來臨、御拝領物、御内書御項戴、御献上物)、「御招請」(御客衆御逢、他所之輩御目見、他所御取遣、御末男方取扱、日門様御入來)、「御登城」(御参詣(御社

参・御仏参・神酒御札御頂戴、「所々御成」(御屋敷外押立候出御此部ニ記・御屋敷内之儀者高貴ニ記)、「御規式」(諸御祝事・土用入寒入其外御側ニ而被召上)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使等)、「御法事」(御精進)、「諸被仰出役所極」(根極ニ相成候儀御年寄衆・大寄合方・両御用人方申聞候極)の項目で構成。

第二冊 〔江戸日記寄二〕 (寛政五年〜同七年) (御小納戸頭取)

※「御役替」(被召出御加増知地方拝領・兼役加役御用懸・人別・召抱・御憐愍・御手当・御役料・固メ上下御供・御用向申渡)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋等)、「御目見」(江戸交代 支配方共・御用ニ付御目見被仰付・御絵師被為召・御祝詞申上・諸御礼申上等)、「触状」(「寺社」(御名代・御神事・御初穂・御備物・御祈禱)、「諸願」(屋敷拝領并相對替・湯治病氣養生之御暇・新規御目見継目共・勢州参宮御暇・改名等)、「諸達」(御黒印紙取扱支配方申達・根極不取扱儀常々御用向諸役所申談等記)、「変事」(病死・忌服引込并忌御免・御叱・差控・御赦免者)、「雑事」(常々御用向・御慰物・其外上り物・木草花・御葉類・病氣引込・御番出入・両地往来御用取扱・諸色受取渡・御道具取扱等)の項目で構成。

尾三 三 江戸日記寄

(寛政八年〜同九年)

(御小納戸頭取)

縦 一

*「高貴」(諸芸御覧・御屋敷内御庭并御物見・御方々様御部屋江被為入候事とも此部ニ入)、「上使」(勅使衆来臨・御拝領物・御内書御頂戴・御献上物)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱・日門様御入来とも)、「御登城」(御参詣)「御社参・御仏参・神酒御札御頂戴」(所々御成)「押立候出御此部ニ入」(御規式)「諸御祝い事・土用入寒入其外御側ニ而被召上物」(御届)「御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使事」(御法事)「御精進」(諸被仰出役所極)「根極ニ相成候儀表向ヨリ申聞并御側ニ而も極候記」(御役替)「被召出御加増知・兼役加役御用懸・人別被仰付・召抱・御憐愍・御手当・御役料・固メ・上下御供・御用向被仰渡)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋等)、「御目見」(江戸交代 支配方とも・御祝詞申上・諸御礼申上)、「諸触」(諸向方触之分)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂・御備物・被下物)、「諸願」(屋敷願・相對替・湯治御暇・養生御暇・新規御目見継目共・勢州参宮御暇・改名等)、「諸達」(御黒印紙取扱支配方申達・根極不取扱儀常々御用向以上ヨリ申談等此部ニ入)、「変事」(病死・忌明引込共・同御免・御叱・差控・御赦免)、「雑」(常々御用・御慰物・其外差上物・木草類・御葉種類・病氣引込・御番出入・江戸尾州往来御用向取扱・諸色受取渡・御道具取扱等)の項目で構成。

尾三 二 江戸日記寄

(寛政一〇年〜享和二年)

(御小納戸頭取)

縦 一

*「高貴」(諸芸御覧・御屋敷内御庭并御物見・御方々様御部屋江被為入候事共此部ニ入)、「上使」(勅使衆来臨・御拝領物・御内書御頂戴・御献上物)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱・日門様御入来とも)、「御登城」(御豫参)「御社参・御仏参・神酒御札御頂戴・御遙拝」(御成)「御規式」(諸御祝い事・土用入寒入其外於御側被召上物)、「御届」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使之事)、「御法事」(御精進日)、「諸被仰出」(根極ニ相成候儀年寄衆・御側大寄合・両御用人方より被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増知・兼役加役御用懸・人別被仰付・召抱・御憐愍・御手当・御役料并固メ・上下御供・御用向被仰渡等此部ニ入)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「御目見」(江戸交代 支配方共・御年寄衆隠居被為召御祝詞申上・諸御礼并御機嫌伺・御絵師被為召・御小性前髪取)、「諸触」(「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂・御備物・被下物)、「

番号表題

年月日

作成者

形態・数量

「諸願」(屋敷拝領・同相對替拝領・湯治御暇・養生御暇・新規継目御目見・勢州參宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙支配方申達・根極不成儀御用列以上方申談)、「天災病死変事」(忌引籠并忌御免・御叱・差控・御赦免)、「雑」(常々御用・御慰物・其外上ケ物・木草類・御葉類・病氣引籠・御番出入・江戸尾州往來御用取扱・諸色受取扱・御道具取扱)の項目で構成。

尾三 江戶日記寄

(享和三年・文化五年)

(御小納戸頭取)

縦 一

*「高貴」(諸芸其外御覽・御屋敷内御庭并御物見・御方々様御部屋江被為入候儀共此部ニ記)、「上使」(勅使衆來臨・御拝領物・御内書御頂戴・御献上物・御立寄)、「御招請」(御客衆御逢・他所之輩御目見・他所御取遣・御末男方取扱・日門様御入來)、「御登城」(御豫參・御社參・御仏參・神酒御札御頂戴・御遙拝)、「御成」(押立候出御此部ニ入)、「御規式」(諸御祝い事・入土用入寒其外於御側被召上物)、「御屈」(御拝領物御配分・諸御取遣・御書取扱・御使之事)、「御法事」(御精進日等)、「諸被仰出」(根極ニ相成候儀年寄衆・御側大寄合・兩御用人方申聞)、「御役替」(被召出御加増知・兼役加役御用懸り・人別被仰付・召抱・御憐愍・御手当・御役料・固メ・御上下御供・御用向被仰渡)、「御褒美」(拝領物・差上物・諸御尋)、「不時御目見」(江戸交代・御年寄衆隱居被為召就御用御目見被仰付・御絵師被為召・諸御札申上)、「諸触」(「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御初穂・御備物・被下物)、「諸願」(屋敷拝領并相對替拝領・湯治御暇・養生之御暇・新規継目御目見・勢州參宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱・支配方申達・根極不成儀御用列以上方申聞其外諸役所御用向申談并取扱)、「天災病死変事」(忌服引籠并忌御免・御叱・差控・御赦免)、「雑事」(常々御用・御慰物・其外上ケ物・木草之類・御葉種類・病氣引籠・御番出入・江戸尾州上下御用取扱・諸色受取扱渡・御道具取扱)の項目で構成。

尾三 江戶日記寄

(文化六年・同二年)

(御小納戸頭取)

縦 二

第一冊 江戶日記寄(一)

(文化六年・同二年)

(御小納戸頭取)

※「高貴」(諸芸其外御覽・御屋敷内御庭并御物見・御方々様御部屋江被為入候儀此部ニ記)、「上使」(勅使衆來臨・御拝領物・御内書御頂戴・御献上物・御立寄)、「御招請」(日門様御來臨・御客衆御逢・他所御取遣・他所之輩御目見・御末男方取扱)、「御登城」(「御豫參」(御社參・御仏參・御札神酒御頂戴)、「所々御成」(御屋敷外押立候出御)、「御規式」(御発駕・御着座・諸御祝事・入土用入寒・御側ニ被召上物)、「御屈」(御拝領物之御配分・諸御取遣・御書取扱・御使)の項目で構成。中表紙に「古帳簿」の貼紙あり。

第二冊 江戶日記寄(二)

(文化六年・同二年)

(御小納戸頭取)

※「御法事」(御精進日)、「諸被仰出」(根極ニ相成候儀年寄衆・御側大寄合方・兩御用人衆被申聞候事)、「御役替」(被召出御加増地方拝領・兼役加役御用懸り・人別被仰付・召抱・御憐愍・御手当・役料・誓詞・上下御供被仰付御用向被仰渡申渡)、「御褒美」(拝領物・差上物・御尋)、「不時御目見」(江戸交代・御年寄衆隱居被為召就御用御目見被仰付・御絵師被為召・諸御札申上)、「触状」(御小納戸向諸通辭)、「寺社」(御名代・御神事・御祈禱・御備物・被下物)、「諸願」(屋敷拝領并相對替拝領・湯治御暇・養生之御暇・新規継目御目見・勢州參宮御暇・改名)、「諸達」(御黒印紙取扱・支配方申達・根極ニ不相成儀常々御用向御用列以上其外諸役所御用向申談并取扱)、「変事」(忌服引籠并忌御免・御叱・差控・御赦免)、「雑事」(常々御用・御慰物・其外上ケ物・木草之類・御葉種類・病氣引籠・御番出入・江戸尾州上下御用取扱・諸色請取扱渡・御道具取扱)の項目で構成。